

私の改善報告



VOL.6

力がなくても仕事はできる！ (力仕事は男性のものとは誰が決めた?)

業種を問わず実践できる「改善」のステップ

トヨタに学ぶ改善のプロセス

セミナー & 企業訪問指導受付中

問合せ先：有 株式会社 トヨタワークス コンサルティング事務局

電話 0120-55-8107 (フリーダイヤル)

http://www.toh.ne.jp E-mail: net@toh.ne.jp

製造課 B子さんの改善報告]

B子さんは、製造工場の出荷工程で仕事をしています。扱っている品物は大変重く、出荷用のダンボール箱（10個入）に詰めると重さ20kg以上になります。そのため、昔から女性には出来ないと考えられ、B子さんは毎日雑用をさせられていました。「力が無いからムリ」と決めつけられるのを歯痒く思っていました。

そこで、B子さんは男性と同じように仕事をしたい！と、改善に乗り出しました。

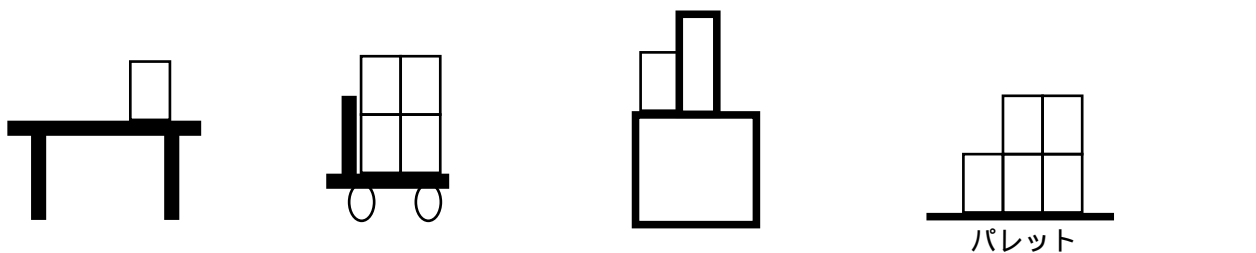
現状の問題点]

出荷工程の仕事は、製造ラインから流れてきた製品を10個入りのダンボール箱に詰め、ガムテープでフタをし、結束機という機械でダンボールが壊れてしまわないように十字にバンドをかけます。

それを出荷用のパレットという台車に積み上げていくものです。

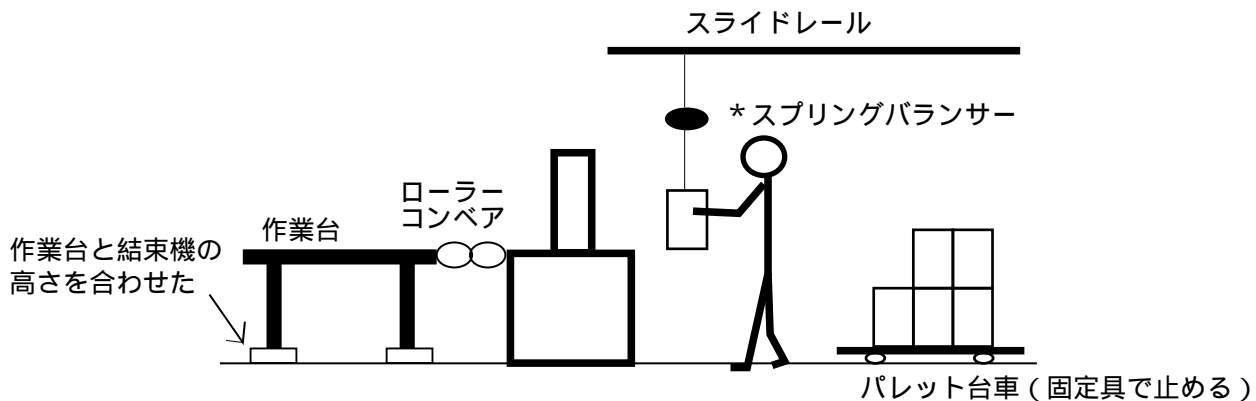
この作業の中で、ダンボールにフタをしたものを台車に乗せ結束機まで運ぶ、台車から結束機に乗せる、結束機からパレットに積み上げる、作業が手作業によるものです。

作業手順図]



改善案]

1. 結束機を箱詰の作業台の横に持って来て、ローラーコンベア - でつないだ。
2. スプリングバランサーという道具を使って片手でもダンボールをパレットに積み上げられるようにした。



* スプリングバランサー・・・バネの力を利用して重いものを軽く吊り上げることができる道具。
スライドレールを使って結束機とパレットの間を移動できるようにした。

改善後]

作業台と結束機の間はローラー上を滑らせるだけで移動でき、結束機からパレットへも簡単に移動できるようになりました。しかも、ただ単に力仕事が無くなっただけでなく、台車に積み替えたり運んだりする作業がなくなったので作業時間が半分になりました。

作業をするとき運搬（取ったり、置いたり、運んだり）は付加価値を生みません。
運ぶことも仕事の内と考えず、何とか運ぶことをやめたいと考えたときに、新たな改善は生まれます。結果としてB子さんの負けず嫌いが作業効率を大幅に高めることにつながりました。